

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	東海財務局長
【提出日】	平成26年11月14日
【四半期会計期間】	第31期第2四半期（自 平成26年7月1日 至 平成26年9月30日）
【会社名】	株式会社コモ
【英訳名】	COMO CO.,LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 木下 克己
【本店の所在の場所】	愛知県小牧市大字村中字下之坪505番地の1
【電話番号】	0568(73)7050(代表)
【事務連絡者氏名】	取締役管理本部長 財務経理部長兼経営企画室長 平光 伸行
【最寄りの連絡場所】	愛知県小牧市大字村中字下之坪505番地の1
【電話番号】	0568(73)7050(代表)
【事務連絡者氏名】	取締役管理本部長 財務経理部長兼経営企画室長 平光 伸行
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第30期 第2四半期 連結累計期間	第31期 第2四半期 連結累計期間	第30期
会計期間	自平成25年4月1日 至平成25年9月30日	自平成26年4月1日 至平成26年9月30日	自平成25年4月1日 至平成26年3月31日
売上高 (千円)	2,637,130	2,672,802	5,476,093
経常利益 (千円)	29,355	43,354	121,678
四半期(当期)純利益 (千円)	10,653	20,006	72,600
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	11,034	25,925	71,186
純資産額 (千円)	1,057,651	821,449	1,117,802
総資産額 (千円)	4,129,942	4,195,581	4,281,584
1株当たり四半期(当期)純利益 金額 (円)	2.94	5.55	20.03
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	25.6	19.6	26.1
営業活動によるキャッシュ・フ ロー (千円)	70,524	172,332	232,331
投資活動によるキャッシュ・フ ロー (千円)	105,451	76,189	222,732
財務活動によるキャッシュ・フ ロー (千円)	198,407	64,768	237,222
現金及び現金同等物の四半期末 (期末)残高 (千円)	238,825	275,910	244,536

回次	第30期 第2四半期 連結会計期間	第31期 第2四半期 連結会計期間
会計期間	自平成25年7月1日 至平成25年9月30日	自平成26年7月1日 至平成26年9月30日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	3.75	3.46

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社についても異動はありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

（1）業績の状況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、景気の緩やかな回復基調が続くなかで企業業績や雇用環境の改善は見られるものの、消費税率の引上げや夏場の天候不順などの影響に加えて、物価も上昇傾向にあることから個人消費の回復には至っておらず、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当業界におきましては、一部には販売価格の引上げによるデフレ脱却の動きは見られるものの、消費者の節約志向は根強く、また、原材料価格や輸送コストの上昇などから引続き厳しい経営環境となりました。

このような環境の中で、当社グループは前連結会計年度に引続き、パネトーネ種の特性を活かした新製品の開発に努めました。新製品としましては、「カレーパン」「クロワッサンこしあん」、栄養機能食品として「ソフトコッティー練乳いちご カルシウムプラス」「ソフトコッティーチョコ 鉄分プラス」を発売しました。また、コンビニエンスストア向けPB製品2品を新発売しました。

売上高につきましては、生活協同組合、自動販売機オペレーター、宅配業態等の販路においては順調に推移したものの、一般卸売問屋における競合他社との価格競争の継続等の影響により、当初の見込みを下回る結果となりました。

利益面につきましては、原材料、エネルギーコスト高騰の影響はあったものの、人員配置の見直しや経費削減の効果等により、当初の見込みを上回る結果となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は26億7千2百万円（前年同期比1.4%増）、営業利益5千1百万円（前年同期比58.8%増）、経常利益4千3百万円（前年同期比47.7%増）、四半期純利益2千万円（前年同期比87.8%増）となりました。

（2）財政状態

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ8千6百万円減少し、41億9千5百万円となりました。これは主に受取手形及び売掛金の減少（5千7百万円）、建物及び構築物の減少（1千7百万円）、商品及び製品の減少（1千万円）などによるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べ2億1千万円増加し、33億7千4百万円となりました。これは主に短期借入金の増加（2億7千5百万円）、役員退職慰労引当金の減少（3千8百万円）、未払法人税等の減少（3千5百万円）などによるものであります。

なお、純資産は、前連結会計年度末に比べ2億9千6百万円減少し、8億2千1百万円となり、自己資本比率は19.6%となりました。これは主に自己株式の取得によるものであります。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ3千1百万円増加（前連結会計年度末比12.8%増）し、当第2四半期連結会計期間末には2億7千5百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は1億7千2百万円（前年同期比144.4%増）となりました。

これは主に税金等調整前四半期純利益（4千1百万円）、減価償却費（1億3千6百万円）、売上債権の減少額（6千8百万円）、役員退職慰労引当金の減少額（3千8百万円）などによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は7千6百万円（前年同期比27.7%減）となりました。

これは主に製造設備の取得による支出（1億4千2百万円）、保険積立金の解約による収入（5千1百万円）などによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は6千4百万円（前年同期比67.4%減）となりました。

これは主に自己株式の取得による支出（2億9千6百万円）、短期借入金の純増加額（2億5千万円）、長期借入金の借入による収入（1億円）などによるものであります。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(5) 研究開発活動

当第2四半期連結累計期間におけるグループ全体の研究開発活動の金額は、2千3百万円であります。

なお、当第2四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	9,600,000
計	9,600,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末現在発行数(株) (平成26年9月30日)	提出日現在発行数(株) (平成26年11月14日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	3,630,000	3,630,000	東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数 100株
計	3,630,000	3,630,000	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数 (株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額(千円)	資本準備金残 高(千円)
平成26年7月1日～ 平成26年9月30日	-	3,630,000	-	222,000	-	134,400

(6)【大株主の状況】

平成26年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合(%)
舟橋 一輝	名古屋市昭和区	157	4.32
舟橋 康太	名古屋市昭和区	157	4.32
株式会社富士エコー	千葉県市川市塩浜2-12	150	4.13
株式会社十六銀行	岐阜県岐阜市神田町8-26	149	4.11
日清製粉株式会社	東京都千代田区神田錦町1-25	51	1.40
フジパングループ本社株式会社	名古屋市瑞穂区松園町1-50	50	1.37
富士ビル株式会社	名古屋市瑞穂区彌富通1-21	48	1.33
安田 とし子	名古屋市瑞穂区	45	1.25
コモ社員持株会	愛知県小牧市村中下之坪505-1	38	1.06
舟橋諭美	名古屋市昭和区	35	0.96
計	-	882	24.30

(注) 上記のほか、自己株式が155千株あります。

(7)【議決権の状況】

【発行済株式】

平成26年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 155,000	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 3,473,100	34,731	-
単元未満株式	普通株式 1,900	-	-
発行済株式総数	3,630,000	-	-
総株主の議決権	-	34,731	-

【自己株式等】

平成26年9月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
株式会社コモ	愛知県小牧市大字村 中字下之坪505番地 の1	155,000	-	155,000	4.27
計	-	155,000	-	155,000	4.27

2【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（平成26年7月1日から平成26年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成26年4月1日から平成26年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、新日本有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	265,536	275,910
受取手形及び売掛金	755,938	698,350
電子記録債権	36,692	26,254
商品及び製品	57,129	46,448
仕掛品	9,780	8,854
原材料及び貯蔵品	71,333	73,968
その他	47,003	48,184
貸倒引当金	200	200
流動資産合計	1,243,215	1,177,770
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	640,455	622,852
機械装置及び運搬具(純額)	522,714	564,345
土地	1,187,049	1,187,049
リース資産(純額)	159,254	168,599
その他(純額)	38,931	39,430
有形固定資産合計	2,548,405	2,582,277
無形固定資産	23,304	21,026
投資その他の資産		
投資有価証券	181,900	191,159
その他(純額)	284,799	223,356
貸倒引当金	39	9
投資その他の資産合計	466,660	414,507
固定資産合計	3,038,369	3,017,811
資産合計	4,281,584	4,195,581

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	278,836	254,321
短期借入金	1,579,996	1,854,996
リース債務	49,700	52,232
未払金	167,607	154,885
未払法人税等	44,008	8,348
賞与引当金	60,262	61,789
その他	96,374	114,165
流動負債合計	2,276,785	2,500,738
固定負債		
社債	100,000	100,000
長期借入金	489,171	499,173
リース債務	123,847	132,889
役員退職慰労引当金	96,740	58,502
退職給付に係る負債	55,079	53,016
その他	22,158	29,811
固定負債合計	886,996	873,393
負債合計	3,163,782	3,374,131
純資産の部		
株主資本		
資本金	222,000	222,000
資本剰余金	134,400	134,400
利益剰余金	2,690,680	2,685,316
自己株式	8,484	305,391
株主資本合計	3,038,596	2,736,325
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	11,862	17,781
土地再評価差額金	1,932,656	1,932,656
その他の包括利益累計額合計	1,920,794	1,914,875
純資産合計	1,117,802	821,449
負債純資産合計	4,281,584	4,195,581

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	2,637,130	2,672,802
売上原価	1,782,516	1,806,598
売上総利益	854,613	866,204
販売費及び一般管理費	822,305	814,899
営業利益	32,308	51,304
営業外収益		
受取利息	33	36
受取配当金	1,683	1,675
受取家賃	8,595	7,766
リサイクル委託費用返戻金	672	305
その他	4,034	2,733
営業外収益合計	15,018	12,516
営業外費用		
支払利息	15,135	13,194
その他	2,836	7,272
営業外費用合計	17,972	20,466
経常利益	29,355	43,354
特別損失		
固定資産除却損	217	1,839
特別損失合計	217	1,839
税金等調整前四半期純利益	29,137	41,515
法人税、住民税及び事業税	16,736	4,984
法人税等調整額	1,747	16,523
法人税等合計	18,483	21,508
少数株主損益調整前四半期純利益	10,653	20,006
四半期純利益	10,653	20,006

【四半期連結包括利益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	10,653	20,006
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	381	5,918
その他の包括利益合計	381	5,918
四半期包括利益	11,034	25,925
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	11,034	25,925

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	29,137	41,515
減価償却費	138,041	136,603
貸倒引当金の増減額(は減少)	41	30
賞与引当金の増減額(は減少)	247	1,527
退職給付引当金の増減額(は減少)	2,601	-
役員退職慰労引当金の増減額(は減少)	4,825	38,237
退職給付に係る負債の増減額(は減少)	-	2,062
受取利息及び受取配当金	1,717	1,711
支払利息	15,135	13,194
有形固定資産除却損	217	1,839
売上債権の増減額(は増加)	225,869	68,026
たな卸資産の増減額(は増加)	7,984	8,972
その他の流動資産の増減額(は増加)	635	2,356
仕入債務の増減額(は減少)	230,221	24,515
未払消費税等の増減額(は減少)	1,155	20,697
その他の流動負債の増減額(は減少)	92,378	5,659
その他	439	2,948
小計	100,248	220,751
利息及び配当金の受取額	1,717	1,711
利息の支払額	15,775	13,286
法人税等の支払額	15,666	36,844
営業活動によるキャッシュ・フロー	70,524	172,332
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	90	83
有形固定資産の取得による支出	96,009	142,503
定期預金の払戻による収入	-	21,000
保険積立金の解約による収入	-	51,834
その他	9,351	6,436
投資活動によるキャッシュ・フロー	105,451	76,189
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(は減少)	250,000	250,000
長期借入れによる収入	200,000	100,000
長期借入金の返済による支出	98,400	64,998
自己株式の取得による支出	16	296,907
配当金の支払額	25,483	25,308
リース債務の返済による支出	24,507	27,555
財務活動によるキャッシュ・フロー	198,407	64,768
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	233,334	31,374
現金及び現金同等物の期首残高	472,160	244,536
現金及び現金同等物の四半期末残高	238,825	275,910

【注記事項】

(四半期連結損益計算書関係)

販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
給料手当	228,049千円	222,346千円
賞与引当金繰入額	21,849	25,320
役員退職慰労引当金繰入額	4,825	4,762
退職給付費用	13,178	13,825
配送費	227,851	230,940
賃借料	30,601	24,972

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は下記のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
現金及び預金勘定	238,825千円	275,910千円
現金及び現金同等物	238,825	275,910

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年6月27日 定時株主総会	普通株式	25,370	7	平成25年3月31日	平成25年6月28日	利益剰余金

当第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)

1. 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成26年6月27日 定時株主総会	普通株式	25,370	7	平成26年3月31日	平成26年6月30日	利益剰余金

2. 株主資本の金額の著しい変動

当社は、平成26年9月4日開催の取締役会決議に基づき、自己株式149,500株の取得を行いました。この結果、当第2四半期連結累計期間において自己株式が296,907千円増加し、当第2四半期連結会計期間末において自己株式が305,391千円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)及び当第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)

当社グループは、ロングライフパンの製造及び販売事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額	2円94銭	5円55銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	10,653	20,006
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	10,653	20,006
普通株式の期中平均株式数(千株)	3,624	3,603

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成26年11月14日

株式会社コモ

取締役会 御中

新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 大橋 正明 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 倉持 直樹 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社コモの平成26年4月1日から平成27年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成26年7月1日から平成26年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成26年4月1日から平成26年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社コモ及び連結子会社の平成26年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. XBR Lデータは四半期レビューの対象には含まれていません。